

待望の5thアルバム
「Yeccccell!!」発売記念!

神原ゆいさん インタビュ



お徳感があって好きな曲を見つけやすいアルバムになっています。特に意識していたわけではないのですが、カッコイイ・切ない系の曲がそんなに入っていないくて、いつもより3割り増しくらいでポップキュートな曲が集まっているアルバムに仕上がっています。

——神原さんにはセクシーなイメージがありますので、今回の「Yeccccell!!」では夜と昼のイメージの違いを感じました。

「何でも出来るぞ、何でも表現しちゃうぞ!」という気持ちがあって、例えば年々大人びていくのは分かるのですが、大人びた次にまた若返ってみたり(笑) こういう可愛いことも私は大好きなので、「princess」でのアラビア衣装、「JOKER」でのパニースーツと大人びたものが続いたので、この辺でちょっと落ち着こうかと(笑)

——チアガールは落ち着いているんですか?(笑)

私の中では全然落ち着いていますよ!(笑) こういう可愛い感じも楽しいので、今回の「Yeccccell!!」ではジャケットも含めて「神原はエロカッコイイだけじゃない」という新鮮さを感じていただけらんじゃないかなと思います。

——「Yeccccell!!」にはPCゲームの楽曲がたくさん収録されていますが、選曲の際のこだわりなどはありますか?

収録曲については、やっぱり原点がゲームの曲ということもありますし、大人の事柄的な部分で入れられないものもあります(笑) でも私の中ではあまり「美少女ゲームだから」という隔てはなくて、むしろ美少女ゲームの曲って今すごく人気が高くて、いい曲がいっぱいありますよね。「何の歌か」ではなくて、純粋に楽曲としていい曲はもっと全面的に推していきたいと思っています。その曲数が多いので、いい曲だと思っても15曲という中にはなかなか入りきらなくて、いつも悔しい思いをしながら選曲しています。

——PVについてお伺いしたいのですが、見所や撮影時のエピソードなどがあれば教えてください。

撮影はやっぱり冴えない子の演技が難しくて! 私の場合PVはいつも一日で撮り終えるのですが、冴えない子と、その子が垢抜けたときと、チアの部分を一日で全部撮ることになるので、流石にちょっと演技面での切替が出来るとかどうかが不安だった部分はありました。私は好きになったら自分から好きって言っちゃうタイプなので、冴えない子の演技を通して自分になかった経験が出来たことはすごく楽しかったですし、苦労はしましたが意外と演技も出来ました。でも、例えば「Yes, I can!!」のシーンでは、メガネの引っ込み思案の子なのに私自身が我慢出来なくなって、はっちゃけてたりします(笑)

見所はやっぱり最後のドラマパートです。今まであんなに悩んで書いた手紙を渡そうとしていたのに、最後の最後で「女の子の

——今回のアルバム「Yeccccell!!」のコンセプトや、どういったイメージで制作されたのかを教えてくださいませんか?

「Yeccccell!!」では「片想いの女の子の応援歌」を作りたいかったです。ここ何年かのアルバムはずっと「かっこいい・セクシー・エロ系」が多かったのですが、たまには管体的に可愛いこともしてみようかと思いました(笑) 他のレコード会社さんからリリースされたものでは、そういう可愛らしいこともさせていただいたのですが、自社ではあまり可愛い系のことってやったことがなかったんですね。

コンセプトを「片想いの女の子の応援ソング」にしたことで、私自身も可愛らしくというか若干無理をしました(笑) キュンキュンくるような、今までのアルバムとは違う意味でのズキューン感を表現したくて「チアガール・制服・女子高生」という要素を取り入れて、ダンサーちゃん達にも無理をして頑張ってもらっています。ゲームやアニメを見ている人たちなら一度は憧れるシチュエーションで、3次元でもキュンとくる感じを大切にしながら、映像(PV)の構想と合わせて「Yeccccell!!」という歌を書いています。

あとは、例えば神原のカッコイイ曲が好きだと言ってくださる方もいれば、可愛い曲が好きだという方もいらっしゃるの、皆さんのそれぞれの期待に応えるためにオリジナル曲4曲は全て違う系統にしています。異なるベクトルで神原の楽曲が好きなお方に対して、

【Profile】

榊原ゆい

YUI SAKAKIBARA

誕生日：10月13日

血液型：O型

出身地：兵庫県（関西弁 可）

趣味：色々作る事・お菓子作り

カラオケ・イラスト・通販

特技：ダンス・振り付け・ツッコミ

【主な作品】「スーパーロボット大戦α」/レオナ・ガーシュタイン
「はびねす!」(ういんどみる) / 神坂春姫

potential (可能性) はまだまだこんなものじゃない」という歌詞の後に、手紙を渡さずに自分の口で気持ちを伝えるんです。これは手紙を渡すことが女の子の勇気じゃなくて、言葉で好きだと伝えることが女の子に秘められた可能性だということ表現しています。この手紙のやり取りについては歌詞には入っていないので、PVならではのイメージというか、PVじゃないと表現できない部分になっていて、ぜひ見て欲しいポイントですね。

——榊原さんが冴えない女の子になるというのは想像もつきませんでした。

髪の色も暗くしましたし、本当にファンも皆「えっ?!」って感じですよ。でもどうしても我慢できなくて、次の日速攻でメッシュを入れました(笑) 冴えない子表現するにあたって、例えばメガネ一つとっても探すのがすごく大変でした。今の時代、縁が太いメガネはオシャレになっちゃうので、細淵で楕円形のメガネでありつつもちゃんと顔に合っていて、自分が画面に映ったときにちゃんとバランスが良く見えるものではないといけません。メガネ屋さんを何件も回って、本当に失礼な話ですけど「全然オシャレじゃないメガネってどこにありますか?」って聞いたりして(笑)

——10/11(日)にパシフィコ横浜で行われるパースデーライブ「Happy☆LOVE×ライブ2009」についてお聞かせいただけますか?

今回はパシフィコ横浜の国立大ホールというまたすごい名前のついたところでやります(笑) やっぱこれだけ何年もやってきてDVDにもなっている以上、違うアプローチをしなければいけないと思っています。例えば振りは変わらなくても、それを何処の立ち位置でやるかとか、ちょっと形を変えとか。映像で見たときに変化があるように「今年は今年なりのこの曲」という見せ方を考えているのですが、どうしても出来る範囲は限られてくるので大変です。あとは、基本的にパースデーライブはアルバムの曲を中心に構成するのですが、アルバムの曲って振りがついていないものが多いので、新しい振りをどんどんつけていかなければいけないんです。そこは皆で分担して、私がつけるものもあれば、皆それぞれ得意な分野のものを受け持ったりして。でもやっぱり振り付けって私の好みだったり音楽的なセンスの部分があるので、まずは皆に考えさせてもらった振り付けを披露してもらって、私を手直しをしながらより良いものに仕上げていくという作業があります。これって仲間だから出来ることで、一般的にはアーティストはアーティスト、ダンサーはダンサーという感じで練習が別々だったり、ダンサーだけで集中的に練習して最後の最後でライブの前になったらアーティストさん入りますっていう形が普通なんです。私の場合は、私も含めての仲間だと考えてやっていて、その方が絆も深まるし、同じ練習を同じ回数、同じ空気を吸ってやることでチームワークがすごく出来上がってライブの達成感も変わってきます。

それと、今回のパースデーライブでは「100%の踊り」を披露しようかなと思っています。どうしても歌いながらだと踊りは50~60%になって、歌も踊りながらだと70~80%くらいになってしまっていて、ステージでは100%の踊りって披露できないんです。勿論それらが合わさってパフォーマンスとしては100%以上のものになっているのですが、100%で踊る機会が今までなかったので、今年はそこをお見せしようかなと思っています。

——それでは最後に「とらだよ。」読者へのメッセージをお願いします。

音楽に関しては家でじっくりとアルバムを聴くのも一つの醍醐味ですが、ライブと一緒に歌って盛り上がるのも醍醐味だと思います。そのどちらの楽しみ方も出来るパフォーマンスをしているので、CDを聞きつつライブにも来てくださると何倍も榊原ゆいを楽しめるというか、その楽曲を楽しめると思います。ぜひアルバムもライブも一緒に盛り上がっていただければ幸いです!

文責：株式会社虎の穴 営業課 杉田
企画課 嶋本



とらのあな先着特典
サイン入りプロマイド



2009.8.26
on SALE!

『Yeeeeeell!』

品番：KICS-1496
発売元：LOVE×TRAX
販売元：スターチャイルド
価格：3,150円(税込)